

IBM i World 2023

IBM i コンテンツ (2023年12月版)

拡張ジョブ・スケジューラーを使ってみよう！

日本アイ・ビー・エム株式会社
テクノロジー事業本部
IBM Powerテクニカルセールス
澤田英寿

拡張ジョブ・スケジューラー（5770-JS1）を使ってみよう！

目次

1. 拡張ジョブ・スケジューラーとは
2. 拡張ジョブ・スケジューラーの機能ご紹介
 - (1) 拡張ジョブ・スケジューラー基本的な設定方法のご紹介
 - (2) スケジュールコードのご紹介
 - (3) その他の主要機能
ジョブグループ、ジョブ依存の定義、アプリケーション、活動記録ログ
 - (4) システム制御
 - (5) スケジュールデータの保管
3. 補足情報

1. 拡張ジョブ・スケジューラーとは

- ✓ IBM 拡張ジョブ・スケジューラー (5770-JS1) ライセンス・プログラムは、1日24時間週7日の無人ジョブ処理を可能にする強力なスケジューラーです。
- ✓ OSの標準スケジューラーよりも多くのカレンダー機能を提供し、スケジュール済みイベントをさらに強力的に制御できます。
- ✓ ジョブの完了履歴を表示したり、ジョブの状況の通知を管理したりすることもできます。
- ✓ 2022年6月より、OS標準として無償で提供されるようになりました。

解説：

- ・ 拡張ジョブ・スケジューラー (5770-JS) は、2022年6月より OS 標準として無償提供されるようになりました。

プロダクト/オプション: 個別(有償)から IBM i 所有権(無償)へ変更

5733-B45 AFP Font Collection
 5722-IP1 InfoPrint Server
 5769-FN1 AFP DBCS Fonts
 5769-FNT AFP Fonts
 5733-XT2 XML Toolkit
 5761-AP1 Advanced DBCS Support
 5770-AMT Rational Application Management Tools
5770-JS1 Advanced Job Scheduler
 5770-PI1 Performance Tools
 5770-ST1 Db2 Query Mgr & SQL Dev Kit
 5770-XW1 IBM i Access Family

IBM i Optional Features:

Media & Storage Extension
 Db2 Symmetric Multiprocessing
 Db2 Multisystem
 PSF 1-55 IPM Support
 PSF 1-100 IPM Support
 PSF AnySpeed
 HA Switchable Resource
 HA Journal Performance

プロダクト/オプション: 個別(有償)のまま

5770-SS1 IBM i operating system
 5770-BR1 BRMS
 5770-HAS/HAE PowerHA for i
 5733-ICC Cloud Storage Solutions
 5770-WDS Rational Development Studio
 5770-DBM Db2 Mirror (**comes with Db2 Data Mirroring)
 5733-WQx Db2 Web Query
 5733-RDW Rational Developer for i

IBM i Optional Features:

Db2 Data Mirroring (**comes with Db2 Mirror)

解説（続き）：

- ソフトウェアは [ESS Web サイト](#) の “IBM i Evaluation and NLV Download” からダウンロードにより入手できます。
- 5770JS1のライセンスのバージョンは、最新版では、V7R2になります。最新のOSのIBM i 7.5でもこのV7R2を使用してください。

導入済みライセンス・プログラムの表示

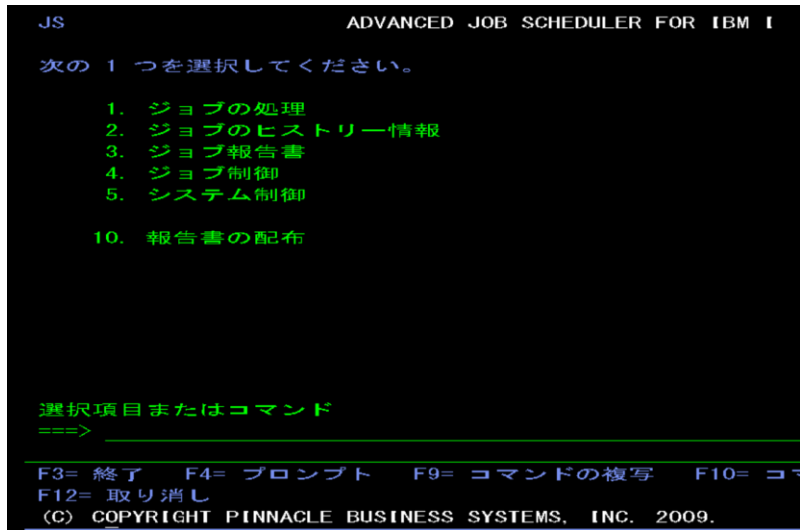
システム： IBMI75

ライセンス・プログラム	導入済みリリース	記述
5770HAS	V7R5MO	POWERHA FOR I ENABLEMENT
5722IP1	V5R3MO	IBM INFOPRINT SERVER FOR I-SERIES
5770JS1	V7R2MO	IBM ADVANCED JOB SCHEDULER FOR I
5770JV1	V7R5MO	IBM DEVELOPER KIT FOR JAVA
5770JV1	V7R5MO	JAVA SE 8 32 BIT
5770JV1	V7R5MO	JAVA SE 8 64 BIT
5770JV1	V7R5MO	JAVA SE 11 64 BIT
5770JV1	V7R5MO	JAVA SE 17 64 ビット
5770NAE	V7R4MO	IBM NETWORK AUTHENTICATION ENABLEMENT FOR I
5770PT1	V7R4MO	IBM PERFORMANCE TOOLS FOR I
5770PT1	V7R4MO	PERFORMANCE TOOLS/400 - MANAGER FEATURE
5770PT1	V7R4MO	PERFORMANCE TOOLS - AGENT FEATURE
5770PT1	V7R4MO	PERFORMANCE TOOLS - ジョブ監視
5770PT1	V7R4MO	PERFORMANCE TOOLS - 予約済み

2. 拡張ジョブ・スケジューラーの機能ご紹介

- ✓ 5250画面とNavigator for iの2つのインターフェイスを利用できます
- ✓ ただし、最新版のNavigator for iのジョブ・スケジューラーの機能はまだ全メニューが使えない。(1つ前のNavigator for iの機能ではフル機能が活用できます)

・ 5250画面のメニュー (GO JS)



・ Navigator for iの画面

(実行管理→全てのタスク→拡張ジョブ・スケジューラー)



解説：

- 最新版のNavigator for iでは、現時点（2023/12）では下記のように機能の制限があります。

<https://www.ibm.com/support/pages/node/6845165>

Not yet available:

- Advanced Job Scheduler Properties specific tabs yet to be completed
 - Schedules, Library Lists, Command variables, Permissions, Users, Calendars
 - Notification
 - Output Queue Monitors
 - Sent
- 当資料では、5250画面を使った操作方法を解説します。

(1) 拡張ジョブ・スケジューラーの基本的な設定方法のご紹介

✓ ジョブのスケジュール設定例

(例) 日次売上レポート処理を、月曜日から金曜日まで毎日22:00に実行したい

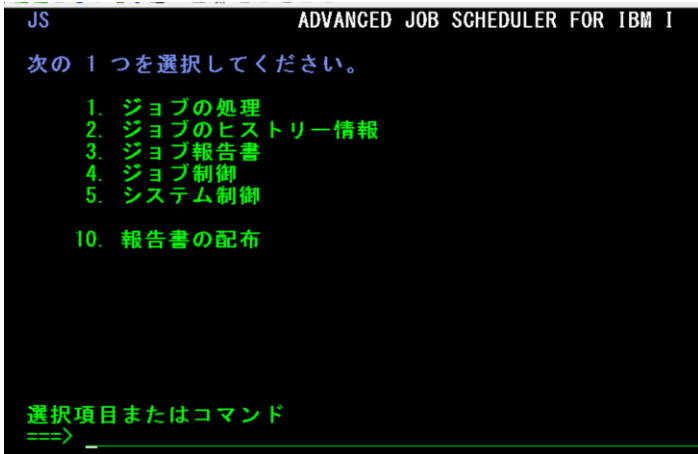
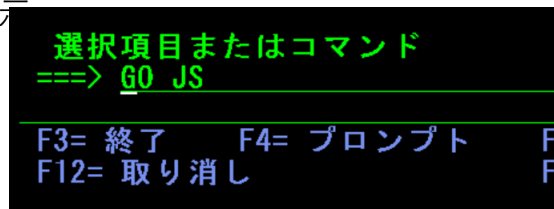
ジョブ名	: SALESRPT
スケジュールコード	: *DAILY
スケジュール時刻	: 22:00
スケジュール曜日	: *MON *TUE *WED *THU *FRI
記述	: 日次売り上げレポート処理

➤ 設定手順 (次ページ以降で詳細手順解説)

1. コマンド行より、「GO JS」と入力し、拡張ジョブ・スケジューラーのメイン・メニューを表示
2. オプション1を選択し、WRKJOBJS コマンドを表示後、デフォルトのまま実行
3. 「ジョブの処理」の画面にて、オプション1 (追加) を入力し、実行
4. ジョブのスケジュール項目を追加
5. F7(コマンド・リストの追加) を押して、このジョブで実行されるプログラムを入力
6. 「ジョブの追加」画面で実行キーを押し、ジョブの追加を完了 (「ジョブの処理」画面に戻り、追加されていることを確認)
7. F11 (ジョブ統計) を押すと、最終実行時の状況や、ジョブの依存関係が確認できます。

設定手順 1.

コマンド行より、「GO JS」と入力し、
拡張ジョブ・スケジューラーのメインメニューを表示



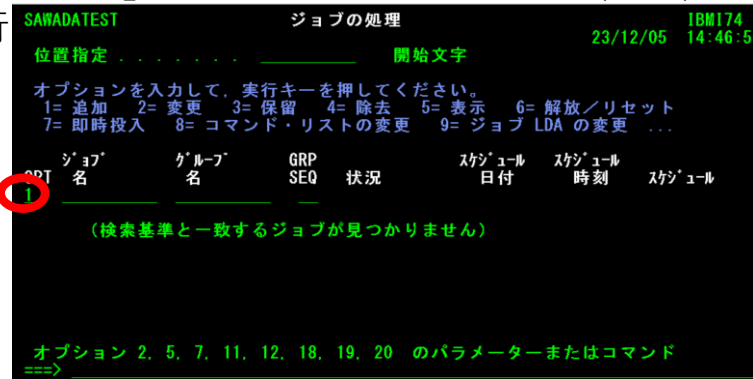
設定手順 2.

オプション 1 を選択し、WRKJOBJS コマンド・プロンプトを表示後、デフォルト値のまま実行



設定手順 3.

「ジョブの処理」画面にて、オプション 1 (追加) を入力し、実行



設定手順4：ジョブのスケジュール項目を追加

ジョブの追加 IBM174
23/12/05 14:54:28

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ名	SALESRPT	名前	*NONE
グループ名	*NONE	名前	*NONE
グループ順序	0	番号	
アプリケーション	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
スケジュール・コード	*DAILY	名前	*DAILY, リストは F4キー
スケジュール時刻	22:00 0:00	0:00	0:00 0:00
	0:00 0:00	0:00	0:00 0:00
予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
休日予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
会計予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
曜日	*MON *TUE *WED *THU *FRI		
テキスト	日次売上レポート処理		

続く...

F3= 終了 F4=プリント F7=コマンド・リストの追加 F8=ジョブ LDA の追加 F12= 取り消し
F16= 予定表の表示

設定手順5：F7(コマンド・リストの追加) を押して、このジョブで実行されるプログラムを入力し、実行キー

コマンド・リストの追加 IBM174

ジョブ名	*NEW
グループ名	*NONE
グループ順序	0
テキスト	*NONE
ジョブ省略時コマンドの使用	*JOBCTL *JOBCTL, *ALL, *PRE, *POST, *NONE

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

SEQ	コマンド
10	CALL BPL010
20	CALL BPL020

設定手順6：「ジョブの追加」画面で実行キーを押し、ジョブの追加を完了（「ジョブの処理」画面に戻り、追加されていることを確認）

SAWADATEST ジョブの処理 IBM174
23/12/05 15:04:47

位置指定 開始文字

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 追加 2= 変更 3= 保留 4= 除去 5= 表示 6= 解放/リセット
7= 即時投入 8= コマンド・リストの変更 9= ジョブ LDA の変更 ...

ジョブ名	グループ名	GRP SEQ	状況	スケジュール日付	スケジュール時刻	スケジュール
SALESRPT	*NONE	0	*READY	23/12/05	22:00	*DAILY

終わり

オプション 2, 5, 7, 11, 12, 18, 19, 20 のパラメーターまたはコマンド
=>

F3= 終了 F4=プリント F5= 最新表示 F11= ジョブ統計 F12= 取り消し
F13= 回復 F15= 日付分類 F23=オプション 続き F24= キーの続き
ジョブ SALESRPT が追加されました。

設定手順7：F11（ジョブ統計）を押すと、最終実行時の状況や、ジョブの依存関係が確認できます。

SAWADATEST ジョブの処理 IBM174
23/12/05 15:08:47

位置指定 開始文字

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 追加 2= 変更 3= 保留 4= 除去 5= 表示 6= 解放/リセット
7= 即時投入 8= コマンド・リストの変更 9= ジョブ LDA の変更 ...

ジョブ名	グループ名	GRP SEQ	最終実行日付	最終実行開始	最終実行終了	最終実行経過	最終実行完了
SALESRPT	*NONE	0	*NEW	0:00	0:00	0:00	*NEW

(2) スケジュール・コードのご紹介

- ✓ ジョブ（もしくはジョブ・グループ）の実行頻度のこと
- ✓ 以下の18種類が存在（この機能によりOS標準スケジューラー機能にはない、柔軟な運用設計が可能です。次ページ以降で下記の解説あり。）
 - *DAILY
 - *CALENDAR
 - *DATE
 - *DAY
 - *ONCE
 - *MONTHEEND
 - *MINUTES
 - *NUMDAY
 - *FIRST/*SECOND/*THIRD/*FOURTH/*FIFTH/*LAST
 - *FIRSTWRK/*LASTWRK
 - *ALTERNATE
 - *NONE

➤ *DAILY

ジョブを毎日実行するか、あるいは毎週の選択した曜日に実行

- *DAILYの設定時は、曜日も指定
- 1日複数回実行も可能

(例) ジョブSALESUPDを毎週月から金まで
10:00,14:00,16:00に実行



ジョブの追加 IBM174
23/12/05 15:30:32

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ名	SALESUPD	名前	
グループ名	*NONE	名前	*NONE
グループ順序	0	番号	
アプリケーション	*NONE	名前	*NONE, リストは F4←
スケジュール・コード	*DAILY	名前	*DAILY, リストは F4←
スケジュール時刻	10:00 14:00 16:00	0:00	0:00
	0:00 0:00	0:00	0:00 0:00
予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4←
休日予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4←
会計予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4←
曜日	*MON *TUE *WED *THU *FRI		
テキスト	*NONE		

➤ *CALENDAR

ユーザーが設定した予定表に基づいてスケジュール

- *曜日設定は不可
- 予定表は、「予定表の処理」画面で定義
予定表には、休日予定表と、会計予定表があります。

(予定表については次ページに参照)

(例) ジョブCALJOBを定義済み予定表 (EXTRASAT)に
基づいて9:00に実行

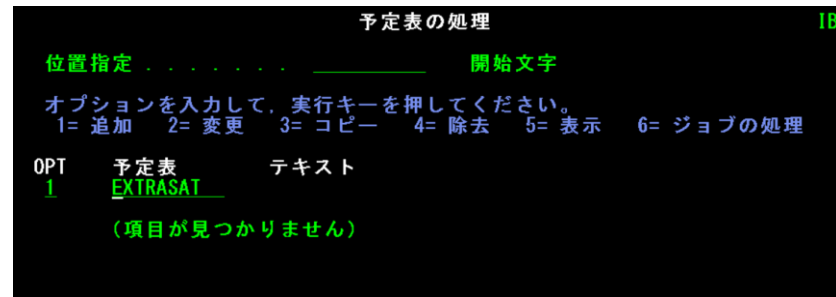
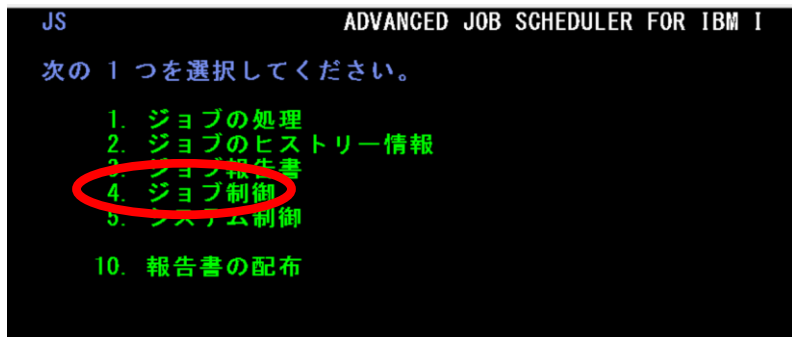


ジョブの追加 IBM174
23/12/06 16:15:45

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ名	CALJOB	名前	
グループ名	*NONE	名前	*NONE
グループ順序	0	番号	
アプリケーション	*NONE	名前	*NONE, リストは F4←
スケジュール・コード	*CALENDAR	名前	*DAILY, リストは F4←
スケジュール時刻	9:00 0:00	0:00	0:00 0:00
	0:00 0:00	0:00	0:00 0:00
予定表	EXTRASAT	名前	リストは F4←
休日予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4←
会計予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4←
テキスト	予定表 (EXTRASAT) に基づくジョブ実行		

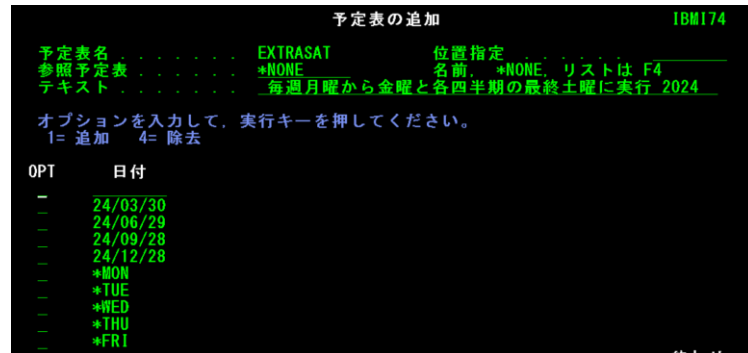
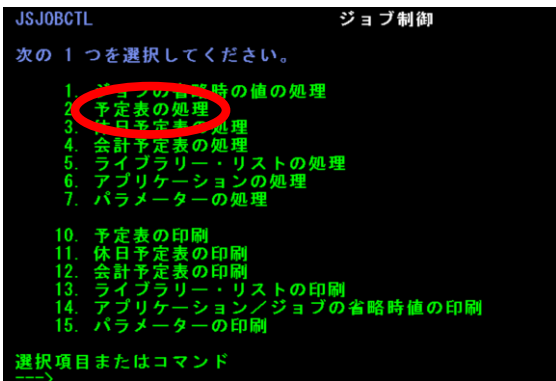
- ◆ 「予定表」の作成方法（予定表により、お客様の部門ごとのカレンダー設定が可能です）
 - ・ジョブの基本的なスケジュール・パターンを事前に登録（=カレンダー作成）
 - ・ユーザー定義が可能な、1年のうちに処理を許可する日をあらかじめ指定する
- [GO JS]メニューから、オプション4（ジョブ制御） オプションに1（追加）を入れて、
 の選択 予定表名（ここではEXTRASAT）を入力



「予定表の処理」を選択



例) 毎週月から金曜日と、2024年の各四半期の最終土曜日にジョブを実行させる場合



◆ 「休日予定表」の作成方法

- ・ 休日予定表：ジョブの実行を除外したい日をまとめて設定する表
- ・ 予定表と、ほぼ同様に設定が可能
 - 他に、「実行日」を指定する必要がある。実行日は、指定した休日の代替日にしたい日付を指定
 - 実行日には、*NONE(代替日指定なし)、*NEXTWRK,*PREVWRK(次回もしくは休日直前作業日)を設定可能

[GO JS]メニューから、オプション4（ジョブ制御）の選択

```

JS          ADVANCED JOB SCHEDULER FOR IBM I
次の 1 つを選択してください。
1. ジョブの処理
2. ジョブのホストリ情報
3. ジョブ報告書
4. ジョブ制御
5. システム制御
10. 報告書の配布
  
```

「休日予定表の処理」を選択

```

JSJOBCTL          ジョブ制御
次の 1 つを選択してください。
1. ジョブの省略時の値の処理
2. 予定表の処理
3. 休日予定表の処理
4. 会社名等の処理
5. ライブラリー・リストの処理
6. アプリケーションの処理
7. パラメーターの処理
10. 予定表の印刷
11. 休日予定表の印刷
12. 会計予定表の印刷
13. ライブラリー・リストの印刷
14. アプリケーションジョブの省略時値の印刷
15. パラメーターの印刷
選択項目またはコマンド
  
```

オプションに1（追加）を入れて、休日予定表名（ここではHOLIDAYS）を入力

```

          休日予定表の処理          IBM I 74
位置指定 . . . . . _____ 開始文字
オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 追加 2= 変更 3= コピー 4= 除去 5= 表示 6= ジョブの処理
OPT  予定表      テキスト
1    HOLYDAYS_
      (項目が見つかりません)
  
```

例) 1月1日は実行しない、8月15日は、次回の作業日に実行
12月25日は、直前の作業日に実行

```

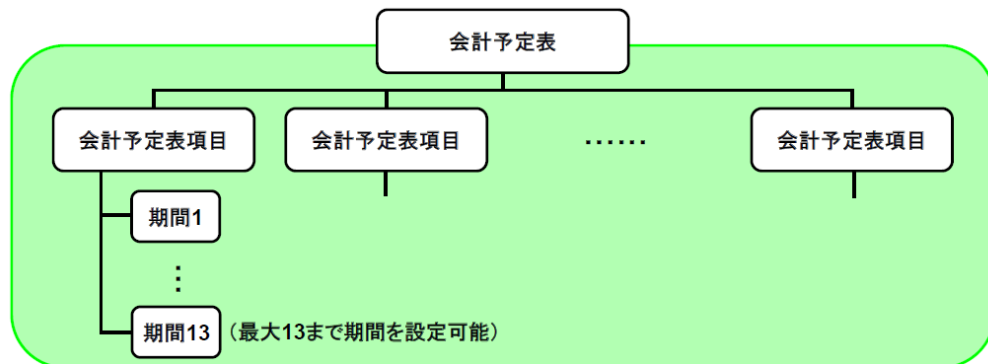
          休日予定表の追加          IBM I 74
予定表名 . . . . . HOLYDAYS          位置指定 . . . . . _____
参照予定表 . . . . . *NONE          名前, *NONE, リストは F4
テキスト . . . . . 会社の休日表
オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 追加 2= 変更 4= 除去
OPT  日付 /スケジュール  実行日
-    _____          _____
-    24/01/01            *NONE
-    24/08/15            *NEXTWRK
-    24/12/25            *PREVWRK
  
```

- ◆ 「会計予定表」とは (1/2)
 - ・ 会計予定表：ユーザーが定義した会計期間の開始日と終了日を設定できる表
 - ・ ジョブに設定されたスケジュールコードの基準を会計期間に合わせることが可能

例えば、スケジュールコードに、*DAY,作業日に*NOが設定され、月間の日付に1と15が設定されている場合、(3月とすると)

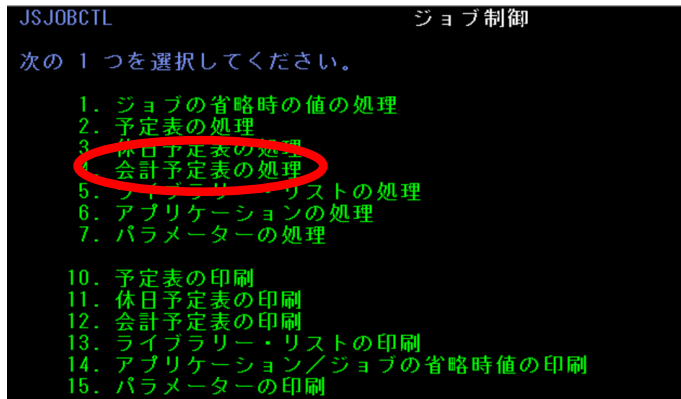
- 会計予定表の設定がないと、3/1と3/15に実行される
- 3/3～3/27までの会計予定表が設定されていると、3/3と3/18にジョブが実行されます

- ・ 会計予定表は、下記の3つの定義があります。
 1. 会計予定表の作成
 2. 会計予定表項目の作成 (例：年度毎)
 3. 期間 (例：月度毎)

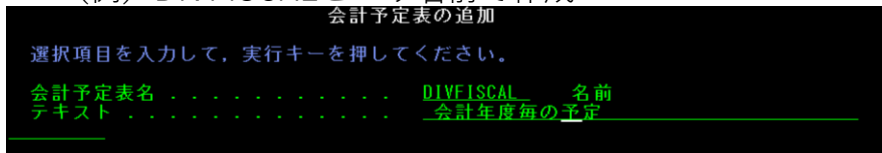


◆ 「会計予定表」の作成方法 (2/2)

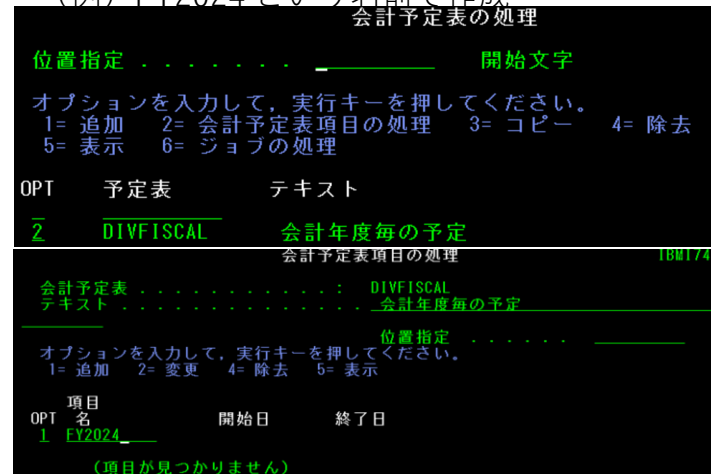
1. GO JSJOBCTL (ジョブ制御メニュー) で、会計予定表を選択



2. 会計予定表の作成 (オプション1で追加)
(例) DIVFISCAL という名前で作成



3. 会計予定表項目の作成 (オプション2で追加)
(例) FY2024 という名前で作成



4. FY2024に期間を設定 ((例) 下記画面のように入力)



➤ *DATE

1年を通じて、特定の日付に実行

- ・最大13日分の日付を設定可能
- ・1年のみにする場合は終了日を入力

(例) ジョブMIDMONTHを毎月15日、24:00に実行



➤ *DAY

毎月特定の日に実行

- ・最大13日設定可能
 - ・「作業日」も指定 (作業日の概念は次ページで解説)
- (例) ジョブFIFTHDAYを毎月5日間隔で12:00に実行



ジョブの追加 IBM174
23/12/06 16:20:56

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ名	MIDMONTH	名前	
グループ名	*NONE	名前	*NONE
グループ順序	0	番号	
アプリケーション	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
スケジュール・コード	*DATE	名前	*DAILY, リストは F4キー
スケジュール時刻	24:00 0:00	名前	0:00 0:00
予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
休日予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
会計予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
年間の日付	0115 0215 0315 0415 0515 0615 0715		
	0815 0915 1015 1115 1215		
テキスト	*DATE	による月半ばのジョブ	

ジョブの追加 IBM174
23/12/07 11:18:26

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ名	FIFTHDAY	名前	
グループ名	*NONE	名前	*NONE
グループ順序	0	番号	
アプリケーション	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
スケジュール・コード	*DAY	名前	*DAILY, リストは F4キー
スケジュール時刻	12:00 0:00	名前	0:00 0:00
	0:00 0:00	名前	0:00 0:00
予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
休日予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
会計予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4キー
月間の日付	01 06 11 16 21 26 31		
作業日	*YES		*NO, *YES
テキスト	5 日間隔で 12 : 00	実行	

◆ 作業日の概念

- ・作業日（Navigator for iでは、稼働日、就業日と表示される）はシステム制御で、ユーザーが定義可能な、作業を実施する日のこと
- ・曜日で設定（労働日に似た概念）

[GO JS]メニューから、オプション5（システム制御） 作業日に、曜日(*MONから*FRI)を入れる

```

JS                                ADVANCED JOB SCHEDULER FOR IBM I
次の 1 つを選択してください。

1. ジョブの処理
2. ジョブのヒストリー情報
3. ジョブ報告書
4. ジョブ制御
5. システム制御
10. 報告書の配布
  
```

```

SAWADATEST                          システム制御の変更                          IBM174
                                         23/12/07 11:26:57

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ・モニター・ユーザー          QIJS          名前, *CURRENT
ジョブ・モニター・ライブラリー・リスト *SYSVAL      名前, *SYSVAL, F4 リスト
通知用のメッセージ待ち行列          QSYSOPR      名前
ライブラリー                          *LIBL       名前, *LIBL
通知用のメッセージ重大度            40          00-99
出力待ち行列                          *PRTF       名前, *PRTF
ライブラリー                          *LIBL       名前, *LIBL
活動記録タイプの除去                  *OCCUR      *DAYS, *OCCUR
保持する活動記録日数/出現回数        180         数値, 1-999
保持するログ項目                      180         数値, 1-999
休前ジョブの通知                      *NO         *NO, *YES
作業日                                *MON *TUE *WED *THU *FRI
ジョブ・アプリケーションが必要          *NO         *NO, *YES
  
```

「システム制御の変更」を選択



```

JSSYSCTL                          システム制御                          システム : IBM174
次の 1 つを選択してください。

1. モニターの開始
2. モニターの終了
3. システム制御の変更
4. 権限処理
5. ジョブ権限の変更
6. 通知コマンドの変更
7. オペレーティング・システム・ジョブ・スケジュール項目の処理
8. ジョブのリセット
9. コンソール・モニターの開始
10. ワークフロー権限の処理
11. AJS ジョブ・モニターの処理

選択項目またはコマンド
==>
  
```

例) 前ページのFIFTHDAYでは作業日（月から金曜）を*YESにしています。日付で5日、10日とはINPUTしていますが、その場合、5作業日目、10作業日のような労働日の日数換算で実行されます。（この設定だと、土、日は労働日に含まれない。）

➤ *ONCE

一度のみジョブの実行

- ・日付を入力しない場合、スケジュール時刻に達した時点で実行
- ・保管パラメーターで、実行後もジョブを保管しておく (YES) か、除去する NO) か指定可能
(例) ジョブONETIME を 2月15日の12:00に一度のみ実行



ジョブの追加 IBM174
23/12/07 17:28:01

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ名	ONETIME	名前	
グループ名	*NONE	名前	*NONE
グループ順序	0	番号	
アプリケーション	*NONE	名前	*NONE, リストは F4*
スケジュール・コード	*ONCE	名前	*DAILY, リストは F4*
スケジュール時刻	12:00 0:00	0:00	0:00 0:00
	0:00 0:00	0:00	0:00 0:00
休日予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4*
会計予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4*
単一日付	0215	日付	
保管	*YES		
テキスト	一度のみ (2月15日) 12:00 実行		

➤ *MONTHEND

月末の末日のみに実行

(例) ジョブEOMPROC を毎月末日の11:00に実行



ジョブの追加 IBM174
23/12/07 17:32:33

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ名	EOMPROC	名前	
グループ名	*NONE	名前	*NONE
グループ順序	0	番号	
アプリケーション	*NONE	名前	*NONE, リストは F4*
スケジュール・コード	*MONTHEND	名前	*DAILY, リストは F4*
スケジュール時刻	11:00 0:00	0:00	0:00 0:00
	0:00 0:00	0:00	0:00 0:00
予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4*
休日予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4*
会計予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4*
テキスト	毎月月末の 11:00 に実行		

▶ *MINUTES

ジョブを分間隔で繰り返し実行

- ・実行間隔を間隔パラメーターに指定（分単位）
- ・実行する曜日の指定も可能

(例) ジョブEVERY30 を毎週日曜および土曜日に
30 分間隔で実行



```

          ジョブの追加                                IBM174
          23/12/07 17:37:48

  選択項目を入力して、実行キーを押してください。

  ジョブ名 . . . . . EVERY30      名前 *NONE
  グループ名 . . . . . *NONE      名前 *NONE
  グループ順序 . . . . . 0        番号 *NONE
  アプリケーション . . . . . *NONE 名前 *NONE, リストは F4キー
  スケジュール・コード . . . . . *MINUTES 名前 *DAILY, リストは F4キー
  間隔 . . . . . 30              分 1-720

  予定表 . . . . . *NONE          名前 *NONE, リストは F4キー
  休日予定表 . . . . . *NONE     名前 *NONE, リストは F4キー
  会計予定表 . . . . . *NONE     名前 *NONE, リストは F4キー
  曜日 . . . . . *SUN *SAT
  テキスト . . . . . 毎週土・日に 30 分間隔で実行
  
```

▶ *NUMDAY

ジョブを指定した日数ごとに実行

- ・指定可能な日数間隔は99 日まで

(例) ジョブEVERY3 を 3 日間隔で 12:00 および
22:00 の 1 日計 2 回実行



```

          ジョブの追加                                IBM174
          23/12/07 17:42:23

  選択項目を入力して、実行キーを押してください。

  ジョブ名 . . . . . EVERY3      名前 *NONE
  グループ名 . . . . . *NONE      番号 *NONE
  グループ順序 . . . . . 0        名前 *NONE, リストは F4キー
  アプリケーション . . . . . *NONE 名前 *DAILY, リストは F4キー
  スケジュール・コード . . . . . *NUMDAY 名前 *DAILY, リストは F4キー
  スケジュール時刻 . . . . . 12:00 22:00 0:00 0:00 0:00
  . . . . . 0:00 0:00 0:00 0:00 0:00
  間隔 . . . . . 3              日数 1-99
  作業日 . . . . . *NO          *NO, *YES
  テキスト . . . . . 3 日間隔で 1 日 2 回 ( 12 : 00 , 22 : 00 )
  実行
  
```

- ▶ *FIRST / *SECOND / *THIRD / *FOURTH / *FIFTH / *LAST

ジョブは毎月または指定された会計期間の

1 番目～最後の指定曜日に実行

- *FIRST : 第 1 週目の指定曜日 / *SECOND : 第 2 週目の指定曜日
- 会計予定表を設定すると、会計期間が対象になる

(例) ジョブLASTSAT を毎月最終週の土曜日の 24:00 に実行



ジョブの追加 IBM174
23/12/07 17:49:11

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ名	LASTSAT	名前	*NONE
グループ名	*NONE	名前	*NONE
グループ順序	0	番号	*NONE
アプリケーション	*NONE	名前	*NONE, リストは F4+
スケジュール・コード	*LAST	名前	*DAILY, リストは F4+
スケジュール時刻	*:00 0:00	名前	*NONE, リストは F4+
	0:00 0:00	名前	*NONE, リストは F4+
予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4+
休日予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4+
会計予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4+
単一曜日	*SAT		
テキスト	毎月最終週の土曜日の 24:00 に実行		

- ▶ *FIRSTWRK / *LASTWRK

ジョブは毎月または指定された会計期間の最初

もしくは最後の作業日に実行

- 作業日はシステム制御よりユーザーが定義可能
- 会計予定表を設定すると、会計期間が対象になる

(例) ジョブFINALWRK を毎月最終作業日の 24:00 に実行



ジョブの追加 IBM174
23/12/07 17:54:43

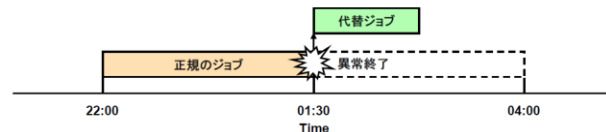
選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ名	FINALWRK	名前	*NONE
グループ名	*NONE	名前	*NONE
グループ順序	0	番号	*NONE
アプリケーション	*NONE	名前	*NONE, リストは F4+
スケジュール・コード	*LASTWRK	名前	*DAILY, リストは F4+
スケジュール時刻	24:00 0:00	名前	*NONE, リストは F4+
	0:00 0:00	名前	*NONE, リストは F4+
予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4+
休日予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4+
会計予定表	*NONE	名前	*NONE, リストは F4+
テキスト	毎月最終作業日の 24:00 に実行		

▶ *ALTERNATE

代替ジョブ

- ・ジョブが異常終了した場合に、代替として実行される
- ・ジョブは正規のジョブが異常終了して、このジョブがそのジョブの代替ジョブとして定義されている場合に実行
- ・正規のジョブが異常終了すると、代替ジョブが実行される



(例) 正規のジョブ(DAILYBKUP)と代替ジョブ(ALT1)の主な定義手順

1. ジョブ (ALT1)を代替ジョブ (*ALTERNATE)として定義する。



```

          ジョブの追加                                IBM174
          選択項目を入力して、実行キーを押してください。    23/12/08  8:17:02

          ジョブ名 . . . . . ALT1 . . . . . 名前, *NONE
          グループ名 . . . . . *NONE . . . . . 名前, *NONE
          グループ順序 . . . . . 0 . . . . . 番号
          アプリケーション . . . . . *NONE . . . . . 名前, *NONE, リストは F4+
          スケジュール・コード . . . . . *ALTERNATE . . . . . 名前, *DAILY, リストは F4+
          テキスト . . . . .          . . . . .          . . . . .          . . . . .
    
```

2. 正規のジョブ (DAILYBKUP)を任意のスケジュールコードで定義し、代替ジョブとして (ALT1)を指定する。



```

          ジョブの追加                                IBM174
          選択項目を入力して、実行キーを押してください。    23/12/08  8:20:23

          ジョブ名 . . . . . DAILYBKUP . . . . . 名前, *NONE
          グループ名 . . . . . *NONE . . . . . 名前, *NONE
          グループ順序 . . . . . 0 . . . . . 番号
          アプリケーション . . . . . *NONE . . . . . 名前, *NONE, リストは F4+
          スケジュール・コード . . . . . *DAILY . . . . . 名前, *DAILY, リストは F4+
          スケジュール時刻 . . . . . 22:00 0:00 . . . . . 0:00 0:00 0:00
          予定表 . . . . . *NONE . . . . . 名前, *NONE, リストは F4+
          休日予定表 . . . . . *NONE . . . . . 名前, *NONE, リストは F4+
          会計予定表 . . . . . *NONE . . . . . 名前, *NONE, リストは F4+
          曜日 . . . . . *SUN *MON *TUE *WED *THU *FRI *SAT
          テキスト . . . . . *NONE
    
```

次ページに下記のように代替ジョブ (ALT1)を指定する

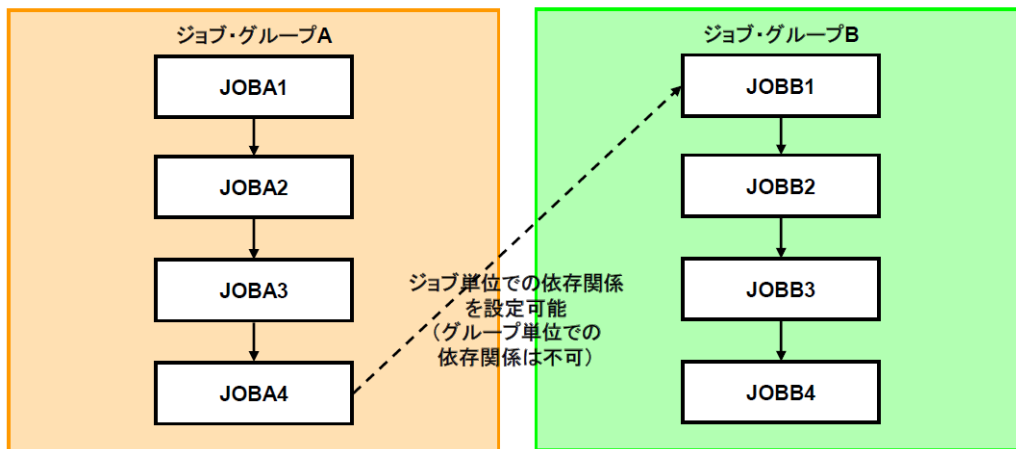
```

          代替ジョブ . . . . . ALT1 . . . . . 名前, *NONE, リストは F4+
          グループ名 . . . . . *NONE . . . . . 名前, *NONE
          グループ順序 . . . . .          . . . . . 番号
    
```

(3) その他の機能

1. ジョブ・グループ (1/2)

- ✓ 指定された順序で連続して実行するためにグループにまとめられたジョブ
 - ・グループ内の各ジョブが正常に完了して初めて次のジョブの処理が実行される
 - ・グループ内のジョブが1つでも正常に終了しない場合は、グループの処理は停止
 - ・ジョブグループ単位での依存関係の定義はできない



(3) その他の機能

1. ジョブ・グループ (2/2)

(例) ジョブ名(SCDJOB1 ,SCDJOB2)を、ジョブグループ(TESTJOBGRP)で作成する

- a. ジョブ(SCDJOB1)の追加で、下記のように入力
- 新規のグループ名を入力した場合、新規のジョブグループが自動作成される
 - その場合、グループ順序に1を入力 (1 は、グループ内のジョブの内、最初に処理される。

- b. ジョブ(SCDJOB2)も同様に追加する
- グループ名 (TESTJOBGRP)で順序に2を入力

```

ジョブの追加                                IBM174
                                           23/12/08  9:57:06
選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ名          SCDJOB1          名前
グループ名       TESTJOBGRP       名前, *NONE
グループ順序     1                 番号
アプリケーション *NONE           名前, *NONE, リストは F4+
スケジュール・コード *DAILY       名前, *DAILY, リストは F4+
スケジュール時刻  22:00  0:00      0:00  0:00  0:00
                  0:00  0:00      0:00  0:00  0:00
予定表            *NONE           名前, *NONE, リストは F4+
休日予定表       *NONE           名前, *NONE, リストは F4+
会計予定表       *NONE           名前, *NONE, リストは F4+
曜日             *SUN *MON *TUE *WED *THU *FRI *SAT
テキスト         ジョブグループ TESTJOBGRP の最初のジョブ
    
```

```

ジョブの追加                                IBM174
                                           23/12/08  10:04:59
選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ジョブ名          SCDJOB2          名前
グループ名       TESTJOBGRP       名前, *NONE
グループ順序     2                 番号
アプリケーション *NONE           名前, *NONE, リストは F4+
スケジュール・コード *DAILY       名前, *DAILY, リストは F4+
スケジュール時刻  22:00  0:00      0:00  0:00  0:00
                  0:00  0:00      0:00  0:00  0:00
予定表            *NONE           名前, *NONE, リストは F4+
休日予定表       *NONE           名前, *NONE, リストは F4+
会計予定表       *NONE           名前, *NONE, リストは F4+
曜日             *SUN *MON *TUE *WED *THU *FRI *SAT
テキスト         ジョブグループ TESTJOBGRP の2つめジョブ
    
```

C. 下記の表示されればOK

```

SAWADATEST                                ジョブの処理                                IBM174
                                           23/12/08  10:08:21
位置指定 . . . . . 開始文字

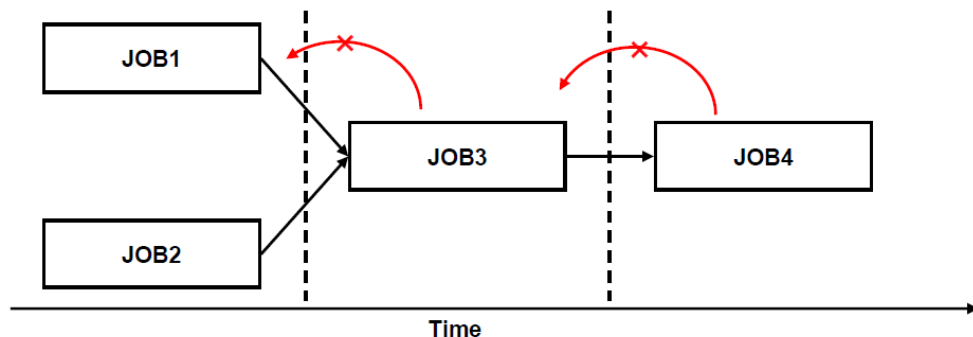
オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 追加 2= 変更 3= 保留 4= 除去 5= 表示 6= 解放/リセット
7= 即時投入 8= コマンド・リストの変更 9= ジョブ LDAの変更 . . .

ジョブ名  グループ名  GRP SEQ  状況  スケジュール日付  スケジュール時刻  スケジュール
---
LASTSAT  *NONE          0  *READY  23/12/30  24:00  *LAST
ONETIME  *NONE          0  *READY  24/02/15  12:00  *ONCE
SALESRPT *NONE          0  *READY  23/12/05  22:00  *DAILY
          *NONE          0  *READY  23/12/06  10:00  *DAILY
          *NONE          0  *READY  23/12/08  22:00  *DAILY
SCDJOB1  TESTJOBGRP  1  *READY
SCDJOB2  TESTJOBGRP  2  *READY
    
```


(3) その他の機能

2. ジョブ依存関係の定義 (1/3)

- ✓ 依存関係とは：ジョブ同士の間で、先行ジョブ又は、後続ジョブの関係を表すもの
 - ・ 先行ジョブ：後続のジョブが実行される前に実行されるジョブ
 - ・ 後続ジョブ：全ての先行ジョブの処理が済んでから実行されるジョブ
- ✓ 先行ジョブと後続ジョブの関係はN:NもOK
- ✓ 先行ジョブが異常終了した場合には、後続ジョブは、実行しないように指定することも可能



例) JOB1、JOB2の処理が完了後、JOB3が実行され、JOB3の処理が完了後にJOB4が実行される

➡ JOB3にとって、JOB1/JOB2が先行ジョブ、JOB4が後続ジョブ

(3) その他の機能

2. ジョブ依存関係の定義 (2/3)

(例) JOB1 を先行ジョブに設定し、後続ジョブ (JOB2) を指定する、JOB2 の後続ジョブにJOB3を指定する

- a. ジョブ(JOB1, JOB2, JOB3)の追加を実施する。
*DAILYで20:00に実行 (下記サンプルでJOB1の場合)

```

          ジョブの追加                      IBM174
          23/12/08  10:47:32
          選択項目を入力して、実行キーを押してください。

          ジョブ名          JOB1          名前          *NONE
          グループ名        *NONE          名前          *NONE
          グループ順序        0            番号          *NONE
          アプリケーション  *NONE          名前          *NONE, リストは F4+
          スケジュール・コード *DAILY        名前          *DAILY, リストは F4+
          スケジュール時刻    20:00 0:00  0:00 0:00  0:00
          0:00 0:00
          予定表            *NONE          名前          *NONE, リストは F4+
          休日予定表        *NONE          名前          *NONE, リストは F4+
          会計予定表        *NONE          名前          *NONE, リストは F4+
          曜日              *SUN *MON *TUE *WED *THU *FRI *SAT
          テキスト          依存関係のテストジョブ (先行)
    
```

```

          SAWADATEST          ジョブの処理                      IBM174
          23/12/08  11:43:46
          位置指定          開始文字

          オプションを入力して、実行キーを押してください。
          1= 追加 2= 変更 3= 保留 4= 除去 5= 表示 6= 解放/リセット
          7= 即時投入 8= コマンド・リストの変更 9= ジョブ LDA の変更 ...

          ジョブ名          グループ名          GRP          状況          スケジュール          スケジュール          スケジュール
          OPT 名            名            SEQ          状況          日付            時刻            スケジュール
          --- JOB1          *NONE          0          *READY        23/12/08        20:00          *DAILY
          --- JOB2          *NONE          0          *READY        23/12/08        20:00          *DAILY
          --- JOB3          *NONE          0          *READY        23/12/08        20:00          *DAILY
          --- LASTSAT        *NONE          0          *READY        23/12/30        24:00          *LAST
          --- ONETIME        *NONE          0          *READY        24/02/15        12:00          *ONCE
          --- SALESRPT        *NONE          0          *READY        23/12/05        22:00          *DAILY
          --- SALESUPD        *NONE          0          *READY        23/12/06        10:00          *DAILY

          オプション 2, 5, 7, 11, 12, 18, 19, 20 のパラメーターまたはコマンド
    
```

- b. ジョブ(JOB1)にジョブ依存の設定 (10) を実施

```

          オプションを入力して、実行キーを押してください。
          10=ジョブ依存関係の変更 11=グループの開始 12=ジョブの権限の編集
          14= ジョブ文書の変更 15= ジョブ文書の印刷 ...

          ジョブ名          グループ名          GRP          状況          スケジュール          スケジュール          スケジュール
          OPT 名            名            SEQ          状況          日付            時刻            スケジュール
          --- 10 JOB1          *NONE          0          *READY        23/12/08        20:00          *DAILY
          --- JOB2          *NONE          0          *READY        23/12/08        20:00          *DAILY
          --- JOB3          *NONE          0          *READY        23/12/08        20:00          *DAILY
          --- JOB4          *NONE          0          *READY        23/12/08        20:00          *DAILY
          --- LASTSAT        *NONE          0          *READY        23/12/30        24:00          *LAST
          --- ONETIME        *NONE          0          *READY        24/02/15        12:00          *ONCE
          --- SALESRPT        *NONE          0          *READY        23/12/05        22:00          *DAILY

          オプション 2, 5, 7, 11, 12, 18, 19, 20 のパラメーターまたはコマンド
          ==>
    
```

- c. 下記画面でF6(追加) を設定

```

          ジョブ依存関係の変更                      IBM174

          ジョブ名          :          JOB1
          グループ名        :          *NONE
          グループ順序      :          0
          テキスト          :          依存関係のテストジョブ (先行)
          一致条件          :          *ALL, *ANY

          オプションを入力して、実行キーを押してください。
          4= 除去 5= 表示 7= 完了の変更
          8= 正常完了が必要の変更

          OPT  タイプ          ジョブ/          グループ          SEQ  完了          完了          記述
          ---  *PREDJOB        ジョブ/          *NONE          0          完了          必要          依存関係のテスト
          ---  *PREDJOB        ワークロー          *NONE          0          完了          必要          依存関係のテスト
    
```

(3) その他の機能

2. ジョブ依存関係の定義 (3/3)

- d. 先行ジョブ (JOB1), 後続ジョブ (JOB2) を設定
 * 「正常完了が必要」というのはそのジョブが開始される前に、先行ジョブが正常終了していることが必要なら*YES

- e. ジョブ(JOB2)にもF6 (追加) で同様のジョブ依存の設定実施

依存ジョブの追加 IBM174

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

先行ジョブ:
 ジョブ名 JOB1 名前 , *LAST, リストは F4キー
 グループ名 *NONE 名前 , *NONE
 グループ順序 — 番号

後続ジョブ:
 ジョブ名 **JOB2** 名前 , リストは F4キー
 グループ名 *NONE 名前 , *NONE
 グループ順序 — 番号

正常完了が必要 *YES *YES, *NO

依存ジョブの追加 IBM174

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

先行ジョブ:
 ジョブ名 JOB2 名前 , *LAST, リストは F4キー
 グループ名 *NONE 名前 , *NONE
 グループ順序 — 番号

後続ジョブ:
 ジョブ名 JOB3 名前 , リストは F4キー
 グループ名 *NONE 名前 , *NONE
 グループ順序 — 番号

正常完了が必要 *YES *YES, *NO

- f. ジョブの処理で、「F11の依存関係を表示」を実行するとわかり易く、先行、後続ジョブは表示できます。

ジョブ依存関係の変更 IBM174

ジョブ名 JOB1
 グループ名 *NONE
 グループ順序 0
 テキスト 依存関係のテストジョブ (先行)
 一致条件 *ALL *ALL, *ANY

オプションを入力して、実行キーを押してください。
 4= 除去 5= 表示 7= 完了の変更
 8= 正常完了が必要の変更

OPT	タイプ	ジョブ/ ワークフロー	グループ	SEQ	完了	完了 必要	記述
—	*PREJOB	JOB1	*NONE	0	****	****	依存関係のテスト
—	*SUCCJOB	JOB2	*NONE	0	*NO	*YES	依存関係のテスト

SAWADATEST ジョブの処理 IBM174
 23/12/08 16:46:25

位置指定 開始文字

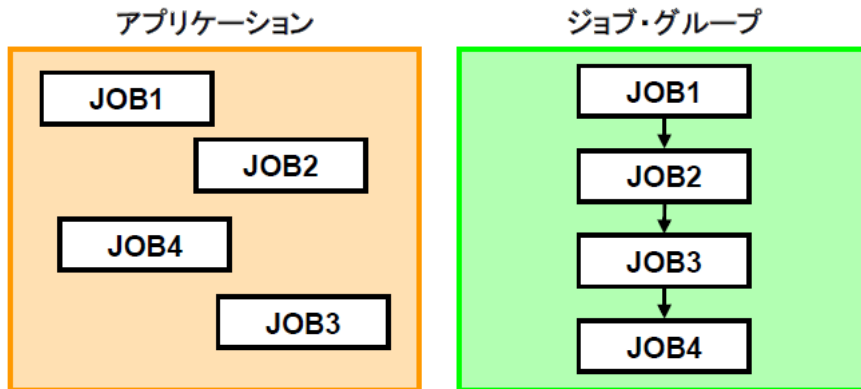
オプションを入力して、実行キーを押してください。
 1= 追加 2= 変更 3= 保留 4= 除去 5= 表示 6= 解放/リセット
 7= 即時投入 8= コマンド・リストの変更 9= ジョブ LDA の変更 . . .

OPT	ジョブ名	グループ名	GRP SEQ	先行	後続	依存関係	資源	活動
—	JOB1	*NONE	0	*YES	*NO	*NO	*NO	*NO
—	JOB2	*NONE	0	*YES	*YES	*NO	*NO	*NO
—	JOB3	*NONE	0	*NO	*YES	*NO	*NO	*NO
—	LASTSAT	*NONE	0	*NO	*NO	*NO	*NO	*NO
—	ONCE	*NONE	0	*NO	*NO	*NO	*NO	*NO
—	ONETIME	*NONE	0	*NO	*NO	*NO	*NO	*NO

(3) その他の機能

3. アプリケーションの処理 (1/3)

- ✓ アプリケーションとは：特定の業務を構成するジョブの集まり
 - ・ ジョブグループより幅広く、順次処理ではない
 - ・ アプリケーション内のジョブは同時に実行させることが可能
- ✓ 新規のジョブを作成する場合に、アプリケーションを指定できる
- ✓ アプリケーション毎のジョブの省略値を設定することが可能 (次ページ解説)



(3) その他の機能

3. アプリケーションの処理 (2/3)

- ・アプリケーション毎に、ジョブ省略時の値の設定が可能 (ジョブ省略時項目は、アプリケーション作税時に自動作成)
- ・どの省略時の値が適用されるかは、ジョブが属しているアプリケーションにより、決定される

a. ジョブ制御の「アプリケーション (6)」選択

```

JSJOBCTL                ジョブ制御                システム :  IBMI74
次の 1 つを選択してください。

1. ジョブの省略時の値の処理
2. 予定表の処理
3. 休日予定表の処理
4. 会計予定表の処理
5. ライブラリー・リストの処理
6. アプリケーションの処理
7. パラメーターの処理
  
```

b. 下記画面でアプリケーションの追加(1)を設定 (例) TESTAPPLという名前にする

```

                アプリケーションの処理                IBMI74
位置指定 . . . . . _____  開始文字

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 追加  2= 変更  3= コピー  4= 除去  5= 表示  6= ジョブの処理
7=アプリケーション・ジョブの保留  8= アプリケーション・ジョブの解放
9= アプリケーション情報の変更

OPT  アプリケーション      テキスト
 1  TESTAPPL_____

      (項目が見つかりません)
  
```

c. 下記の画面で実行

```

                アプリケーションの追加                IBMI74
情報を入力して、実行キーを押してください。

アプリケーション . . . . . TESTAPPL_____
アプリケーション連絡先 1 . . . . . _____
アプリケーション連絡先 2 . . . . . _____
アプリケーション連絡先 3 . . . . . _____
アプリケーション連絡先 4 . . . . . _____
アプリケーション連絡先 5 . . . . . _____
テキスト . . . . . テスト用のアプリケーション登録_____
  
```

d. 下記の画面で、「ジョブ省略時の値の処理」を実行

```

JSJOBCTL                ジョブ制御                システム :  IBMI74
次の 1 つを選択してください。

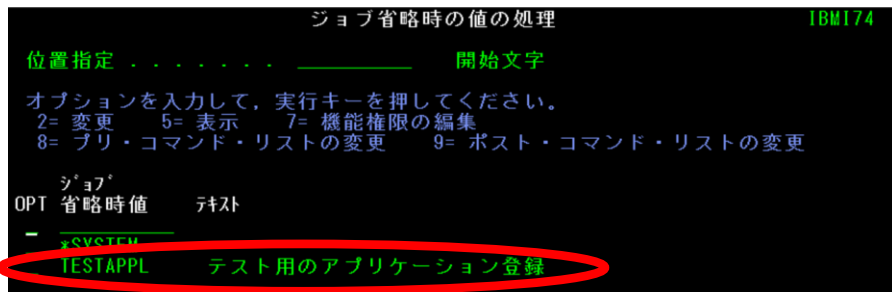
1. ジョブの省略時の値の処理
2. 予定表の処理
3. 休日予定表の処理
4. 会計予定表の処理
5. ライブラリー・リストの処理
6. アプリケーションの処理
7. パラメーターの処理

10. 予定表の印刷
11. 休日予定表の印刷
12. 会計予定表の印刷
13. ライブラリー・リストの印刷
14. アプリケーション/ジョブの省略時値の印刷
15. パラメーターの印刷
  
```

(3) その他の機能

3. アプリケーションの処理 (3/3)

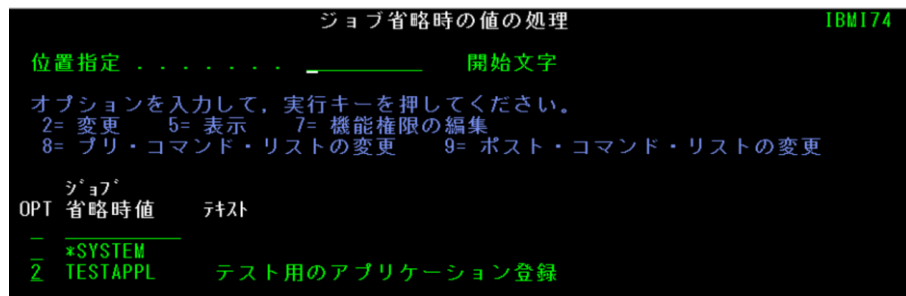
e. ジョブ省略時の値は、アプリケーション追加時に自動で作成される



g. アプリケーション毎にジョブの省略時値 (下記のような項目) を変更できる



f. 下記画面で2の変更 を選択



h. 下記の画面で、「ジョブの追加」時に、アプリケーションを登録でき、実行環境を設定できる



(3) その他の主要機能

4. ジョブの活動記録の処理 (1/2)

- ✓ スケジュールされた各ジョブ単位の活動記録を処理
- ✓ スケジューラーによるスケジューリングのログを表示

a. メインメニューから、2番の「ジョブの履歴情報」を選択

```

JS          ADVANCED JOB SCHEDULER FOR IBM I          システム :  IBM174
次の 1 つを選択してください。

1. ジョブの処理
2. ジョブの履歴情報
3. ジョブの報告書
4. ジョブ制御
5. システム制御

10. 報告書の配布
  
```

b. ジョブの活動記録情報のメニューから、1番の「活動記録の処理」を選択

```

JSHST      ジョブの活動記録情報          システム :  IBM174
次の 1 つを選択してください。

1. 活動記録の処理
2. 活動記録の表示
3. 活動記録の除去
4. ログ項目の除去
  
```

c. ジョブの活動記録の一覧が表示
より詳細情報は、ジョブ名の左に 9 を入れて実行

```

SAWADATEST      活動記録の処理          IBM174
                                     23/12/11  11:14:56
日付による位置指定 . . . . .
オプションを入力して、実行キーを押してください。
4= 除去 5= 表示 7= ジョブ・ログの表示 8= ジョブの処理 (WRKJOB)
9=JS ログの表示

ジョブ名      グループ名      GRP  最終実行
OPT 名        名        SEQ  日付    開始    終了    経過    完了
-----
-   EVERY30    *NONE     0  23/12/10  19:00  19:00    0:01  *NORMAL
-   EVERY30    *NONE     0  23/12/10  19:30  19:30    0:01  *NORMAL
-   EVERY30    *NONE     0  23/12/10  20:00  20:00    0:01  *NORMAL
-   JOB1       *NONE     0  23/12/10  20:00  20:00    0:01  *NORMAL
-   JOB2       *NONE     0  23/12/10  20:00  20:00    0:01  *NORMAL
-   JOB3       *NONE     0  23/12/10  20:00  20:00    0:01  *NORMAL
-   EVERY30    *NONE     0  23/12/10  20:30  20:30    0:01  *NORMAL
-   EVERY30    *NONE     0  23/12/10  21:00  21:00    0:01  *NORMAL
-   EVERY30    *NONE     0  23/12/10  21:30  21:30    0:01  *NORMAL
9   DAILYBKUP  *NONE     0  23/12/10  22:00  22:00    0:01  *NORMAL
  
```

d. ジョブの活動記録の詳細が表示

```

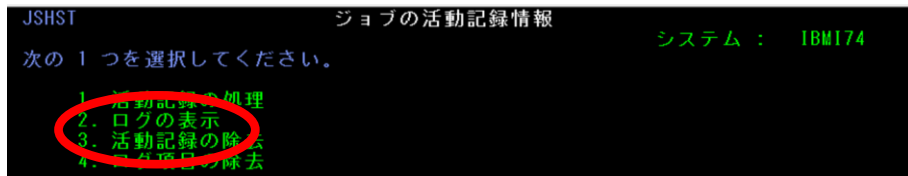
                                     ジョブ・スケジューラーのログの表示          IBM174
現在の日付/時刻 . . . . . :  23/12/11  11:16:23

送信日付  送信時刻      メッセージ
23/12/10  22:00:02.350  ジョブ DAILYBKUP グループ *NONE 順序 *N のジョブ 4084
23/12/10  22:00:02.519  グループ *NONE 順序 *N のジョブ DAILYBKUP には実行す
23/12/10  22:00:02.622  ジョブ DAILYBKUP グループ *NONE 順序 *N のジョブ 4084
  
```

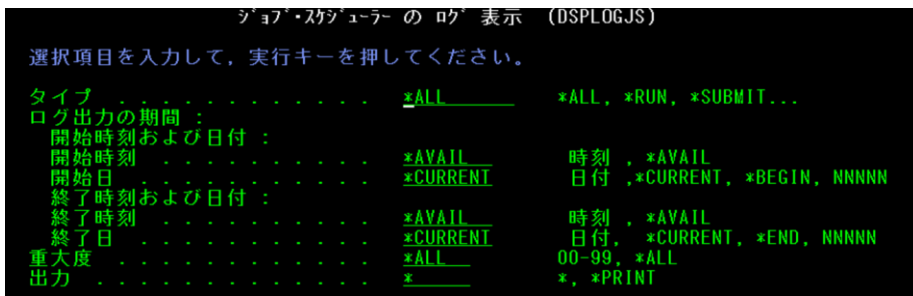
(3) その他の機能

4. ジョブの活動記録の処理 (2/2)

e. ジョブの活動記録情報のメニューから、2番の「ログの表示」を選択



f. ジョブ・スケジューラーのログの表示で実行



g. 本日のログ一覧が表示
より詳細な情報は、メッセージにカーソルをもっていき
F4キーで実行



h. より詳細情報が下記のように得られます



(4) システム制御

- ✓ 拡張ジョブ・スケジューラーの全体で使用される機能の実行及び、システム全体の省略時値の設定が可能 (次ページから主要な機能を解説)
 - ・ジョブ・モニターの活動化／非活動化
 - ・権限に関する処理

GO JS(メインメニュー) から、
5番のシステム制御を選択

下記がシステム制御メニュー

```
JS                                ADVANCED JOB SCHEDULER FOR IBM I
次の 1 つを選択してください。
1. ジョブの処理
2. ジョブの履歴情報
3. ジョブ報告書
4. ジョブ制御
5. システム制御
10. 報告書の配布
```



```
JSSYSCTL                          システム制御
次の 1 つを選択してください。
1. モニターの開始
2. モニターの終了
3. システム制御の変更
4. 機能権限の処理
5. ジョブ権限の変更
6. 通知コマンドの変更
7. オペレーティング・システム・ジョブ・スケジュール項目の処理
8. ジョブのリセット
9. コンソール・モニターの開始
10. ワークフロー権限の処理
11. AJS ジョブ・モニターの処理

システム :
-
選択項目またはコマンド
==>
```

(4) システム制御

1, 2のモニターの開始と終了、12のAJSジョブモニター (ジョブモニター機能について)

- ✓ 拡張ジョブ・スケジューラー内のジョブのリストを常に監視する特殊なジョブがモニター
- ✓ ジョブ実行のタイミングを自動で判断
- ✓ QSYSWRKサブシステムのQIJSSCDが該当
- ✓ ジョブ・モニターが作動していない場合は、ジョブをスケジュールしてもジョブの投入は実行されない。
- ✓ ジョブスケジュールは、複数の環境を作成できる。スケジュール環境は、データライブラリーを分けることで分割できる。各データ環境でのモニターの開始・終了は下記の11番の「AJSジョブ・モニターの処理」を利用する

デフォルトのスケジュールは、QUSRIJSのデータライブラリーで、現在利用中のスケジューラーはSAWADATEST

```
JSSYSCTL          システム制御
システム :
次の 1 つを選択してください。

1. モニターの開始
2. モニターの終了
3. システム制御の変更
4. 機能権限の処理
5. ジョブ権限の変更
6. 通知コマンドの変更
7. オペレーティング・システム・ジョブ・スケジュール項目の処理
8. ジョブのリセット
9. コンソール・モニターの開始
10. ...
11. AJS ジョブ・モニターの処理
```

```
AJS ジョブ・モニターの処理
IBM174
23/12/11 9:11:08
現行ユーザー・データ・ライブラリー : SAWADATEST
省略時データ・ライブラリー : QUSRIJS

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= ジョブ・モニター開始      2= 変更      6= ジョブ・モニター終了
7= 現行ユーザー・データ・ライブラリーの変更      8= モニター・ジョブの処理 ...

OPT  データ      ジョブ      自動      状況      テキスト
ライブラリー モニター モニター 開始
-   HONBANLIB  QIJSSCD  *YES *YES *INACTIVE 本番のスケジューラ登録
-   NTOONLCTL  NTOONLCTL *YES *NO *INACTIVE
-   NTOSCDCTL  NTOSCDCTL *YES *NO *INACTIVE
-   QUSRIJS    QIJSSCD  *YES *YES *ACTIVE
-   SAWADATEST QIJSSCD  *YES *YES *ACTIVE  SAWADATEST 2023/11
-   SAWADA2   QIJSSCD  *NO  *YES *INACTIVE
```


解説：

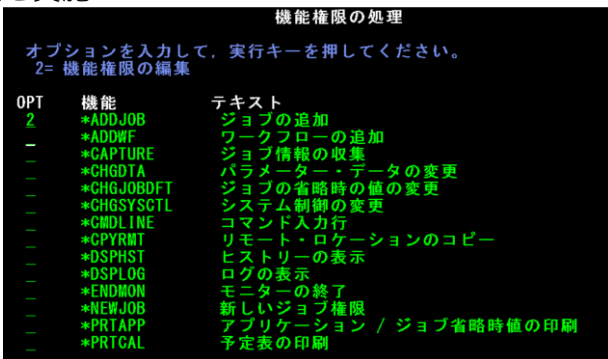
- システム制御の解説
- 活動記録について
 - 活動記録タイプの除去(拡張ジョブ・スケジューラーの活動記録レコードを除去する方法を指定
 - *OCCURの場合は、活動記録の保存日数/出現回数に入力された回数分のジョブの活動記録を保存
 - *DAYSの場合は、活動記録の保存日数/出現回数に入力された日数分のジョブの活動記録を保存
 - 設定した回数/日数に達したら、最も古い順に、活動記録レコードは除去される
- 保持するログ項目について
 - 拡張ジョブ・スケジューラーのログ・ファイルから、ログ項目が除去されるまでに拡張ジョブ・スケジューラーのログで必要な日数を指定
 - 180を指定すると、ログ項目はログファイルに180日間保管される

(4) システム制御

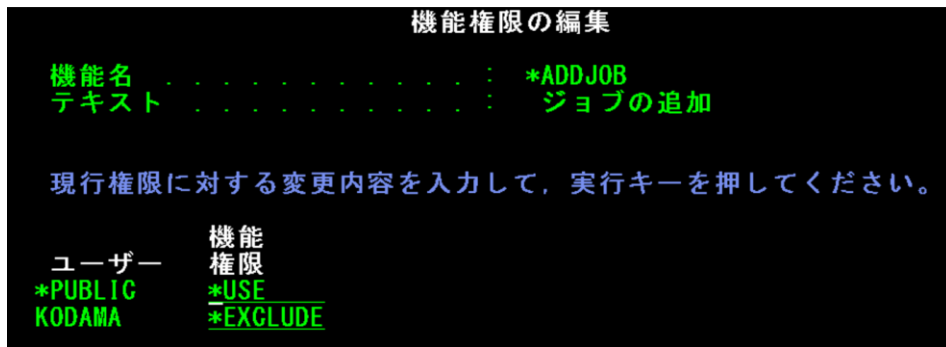
4.権限機能の処理

- ✓ 拡張ジョブ・スケジューラーで利用できる機能に関する権限を設定することが可能
- ✓ *USE (スケジューラー使用可能) か、*EXCLUDE(機能を使用することができない) を指定

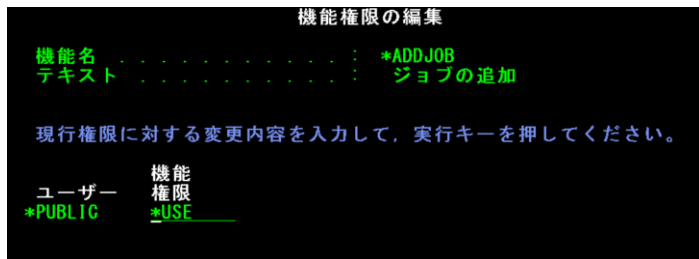
a. 機能が一覧で表示され、該当機能のオプション欄に 2 を入力して、編集を実施



c. (例) ユーザー：KODAMAは使えないようにした。



b. デフォルトでは*PUBLICが*USE (使用可能) になっている。
 F6(ユーザーの新規追加) を選択して、ユーザーに権限を付加できる



(5) スケジュールデータの保管

- ✓ 拡張ジョブスケジューラで登録したデータは、デフォルトでは、QUSRIJSの物理ファイルに反映されます。
- ✓ ユーザー独自に「データ・ライブラリー」を作成すると、その中に必要なファイルが作成されて、スケジューラのデータは、登録されます。
- ✓ 拡張ジョブスケジューラに登録した主要な情報は、下記の図にあるように、QAIJSXXXファイルに反映されます。保管・復元したい場合は、登録した「各データ・ライブラリー」のファイルを保管・復元してください。
- ✓ 別の区画や別マシンに反映される場合は、データ・ライブラリー全体を復元してください。

項目	デフォルトのデータライブラリー	ファイル名
ジョブ項目	QUSRIJS	QAIJSMST
コマンドリスト	QUSRIJS	QAIJS1CM
休日予定表	QUSRIJS	QAIJS1HC
アプリケーション定義	QUSRIJS	QAIJSSD
ライブラリーリスト	QUSRIJS	QAIJSLB
権限認可リスト	QUSRIJS	QAIJSAUT
予定表	QUSRIJS	QAIJSCA
ジョブ依存関係	QUSRIJS	QAIJSPCR
システム制御値	QUSRIJS	QAIJSSC

今後、最新版のNavigator for iでの操作が可能になりましたら、

「Navigator for iを利用した拡張ジョブ・スケジューラーの
活用法」として、

今回の続編のコンテンツを発信します。

3. 補足情報

(1) IBM i 7.5 拡張ジョブ・スケジューラーの マニュアル

<https://www.ibm.com/docs/ja/i/7.5?topic=options-advanced-job-scheduler>

(2) 拡張ジョブ・スケジューラーの紹介ページ (英語)

<https://www.ibm.com/support/pages/ibm-advanced-job-scheduler-i>

(3) FAQ集 (英語)

https://public.dhe.ibm.com/systems/support/i/ajs/AdvancedJobScheduler_faq.pdf

IBM i 関連情報

IBM i ポータル・サイト

<https://ibm.biz/ibmijapan>

i Magazine (IBM i 専門誌。春夏秋冬の年4回発刊)

<https://www.imagazine.co.jp/IBMi/>

IBM i World 2023 オンデマンド・セミナー

<https://ibm.biz/ibmiworld2023>

月イチIBM Power情報セミナー「IBM Power Salon」

<https://ibm.biz/power-salon>

IBM i 関連セミナー・イベント

<https://ibm.biz/powerevents-j>

IBM i Club (日本のIBM i ユーザー様のコミュニティー)

<https://ibm.biz/ibmiclubjapan>

IBM i 研修サービス (i-ラーニング社提供)

<https://www.i-learning.jp/service/it/iserie.html>

IBM Power Systems Virtual Server 情報

<https://ibm.biz/pvsjapan>

IBM i 情報サイト iWorld

<https://ibm.biz/iworldweb>

IBM i サポートロードマップ

<https://public.dhe.ibm.com/systems/support/planning/transfer/IBM.i.Support.Roadmap.pdf>

IBM i 7.5 技術資料

<https://www.ibm.com/docs/ja/i/7.5>

IBM Power ソフトウェアのダウンロードサイト (ESS)

<https://ibm.biz/powerdownload>

Fix Central (HW・SWのFix情報提供)

<https://www.ibm.com/support/fixcentral/>

IBM My Notifications (IBM IDの登録 [無償] が必要)

「IBM i」「9009-41G」などPTF情報の必要な製品を選択して登録できます。

<https://www.ibm.com/support/mynotifications>

IBM i 各バージョンのライフサイクル

<https://www.ibm.com/support/pages/release-life-cycle>

IBM i 以外のSWのライフサイクル (個別検索)

<https://www.ibm.com/support/pages/lifecycle/>



ワークショップ、セッション、および資料は、IBMによって準備され、IBM独自の見解を反映したものです。それらは情報提供の目的のみで提供されており、いかなる読者に対しても法律的またはその他の指導や助言を意図したのではなく、またそのような結果を生むものでもありません。本資料に含まれている情報については、完全性と正確性を期するよう努力しましたが、「現状のまま」提供され、明示または暗示にかかわらずいかなる保証も伴わないものとします。本資料またはその他の資料の使用によって、あるいはその他の関連によって、いかなる損害が生じた場合も、IBMは責任を負わないものとします。本資料に含まれている内容は、IBMまたはそのサプライヤーやライセンス交付者からいかなる保証または表明を引き出すことを意図したもので、IBMソフトウェアの使用を規定する適用ライセンス契約の条項を変更することを意図したものでなく、またそのような結果を生むものでもありません。

本資料でIBM製品、プログラム、またはサービスに言及していても、IBMが営業活動を行っているすべての国でそれらが使用可能であることを暗示するものではありません。本資料で言及している製品リリース日付や製品機能は、市場機会またはその他の要因に基づいてIBM独自の決定権をもっていつでも変更できるものとし、いかなる方法においても将来の製品または機能が使用可能になると確約することを意図したものではありません。本資料に含まれている内容は、読者が開始する活動によって特定の販売、売上高の向上、またはその他の結果が生じると述べる、または暗示することを意図したもので、またそのような結果を生むものでもありません。パフォーマンスは、管理された環境において標準的なIBMベンチマークを使用した測定と予測に基づいています。ユーザーが経験する実際のスループットやパフォーマンスは、ユーザーのジョブ・ストリームにおけるマルチプログラミングの量、入出力構成、ストレージ構成、および処理されるワークロードなどの考慮事項を含む、数多くの要因に応じて変化します。したがって、個々のユーザーがここで述べられているものと同様の結果を得られると確約するものではありません。

記述されているすべてのお客様事例は、それらのお客様がどのようにIBM製品を使用したか、またそれらのお客様が達成した結果の実例として示されたものです。実際の環境コストおよびパフォーマンス特性は、お客様ごとに異なる場合があります。

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、Db2、Rational、Power、POWER8、POWER9、AIXは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。

他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、およびPentium は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

ITILはAXELOS Limitedの登録商標です。

UNIXはThe Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは Oracleやその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。